

## 令和6年度銚田地域農業学園第8回講座及び閉講式を開催しました

3月4日（火）、銚田市旭公民館などを会場にして令和6年度銚田地域農業学園第8回講座及び閉講式を開催しました。

講座では先進事例研修を行い、「地域の先進農家に聞く～経営発展・売上げ向上への取組～」と題して、旭公民館研修室で坂田正彦農業経営士の講話、その後、坂田氏ほ場へ移動してほ場見学をしました。

坂田氏からは経営の概況や特徴、地元の造谷地区の担い手問題や耕作放棄地を解決するため、令和元年に農業法人「株式会社 TF-R1」（つくりやファミリー）を設立したこと、地域農業の維持発展に貢献できるよう努めていることなど、経営方針が紹介されました。

就農時からの経営経歴の紹介では、品目や栽培方法を試験しながら経営を工夫してきたこと、社会情勢や地域・家族の事情などが経営に与えた影響を苦労しながら解決してきたこと、その中でも生活に楽しみがあったことが写真を交えながら紹介されました。また、農業経営における社会保険や収入保険、ハウス保険など生活や経営を守るための保険制度の活用や、最近の新聞記事を参考にして社会情勢が自分たちの農業経営に与える影響について、若い農業者に対して農業経営に必要な心構え、また、励みになる話を頂きました。

講義のあと、坂田氏の圃場へ移動し、ミニトマトとホウレンソウのほ場を見学させていただきました。坂田氏の長年の経験で工夫された栽培方法に受講生は大変興味を示し、ミニトマト栽培の仕立て方法や、ほ場の太陽熱土壌消毒法について坂田氏に指導を受けたいと現地実習をお願いするほど熱心に現地見学を行いました。

事例研修後には当部門より県農業青年プロジェクト実績発表会について情報提供を行い、続いて出席者による意見交換を行いました。出席者からは「講座で学んだことが今後の参考になった」「またいろいろな生産者の見学をして学んでいきたい」といった感想や各々の目標について聞くことができ、今年度の農業学園が受講生にとって有意義な講座となったようでした。

今後も当部門では新規就農者等の経営発展に向けて支援を行っていきます。



講座講義の様子



現地見学の様子

銚田地域農業改良普及センター（担い手づくり）